

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
5. AC-314SG 顆粒水溶剤 [日本サファティド]	イマザキン 73% 12% 42%	コライシバ	作用性 新 規	西日本G研 (1)	[一年生雑草] 雑草生育期 (スズメノカタビラ3~5葉期) ; 1.0 g<200-250> ; 茎葉処理 ; AC-314SG 0.5 g<200-250>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草生育期 (スズメノカタビラ5葉期まで). ・ 0.3~0.5g<200~250>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 薬害の発生要因について. ・ 実証試験での確認.
			作用性 新 規	西日本G研 (1)			
			適用性 継 続	東日本G研 新潟試験地、 奥武蔵CC、 浜松シーサイドGC、 東広野GC、 門司GC (5)			
			適用性 継 続	東日本G研 新潟試験地、 奥武蔵CC、 浜松シーサイドGC、 <大阪GC>、 鳥取園試 (5)			
6. CG-148 顆粒水和剤 [ハルティス 73%]	シスルフロ 18.5%	コライシバ (2)	適用性 継 続	東蔵王GC、 習志野CC、 鳥取園試、 門司GC、 宮崎CC (10)	[一年生雑草 及び一年生カタビラ科] ①スズメノカタビラ発生前 ② " 2~3葉期 ; 0.045、0.06、0.09 g<200> ; ①土壌処理、 ②茎葉処理 ; シズノフロ73% 0.2 ml<200> または一任	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前~発生初期 (3葉期まで). ・ 0.045~0.09g<200>. ・ 土壌又は茎葉処理. 継) ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
			適用性 継 続	植調岩手、 江戸崎CC、 甲府国際CC、 南長野CC、 祁谷院GC (10)			
7. CH-900 707% 剤 [永光化成]	カエンストロール 40%	コライシバ	適用性 継 続	リハ-富士CC、 琵琶湖CC、 タイカ-スGC、 佐賀CC (4)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.25、0.375、0.5 ml <200-300> ; 土壌処理 ; ハイストロ水和剤 0.3 g<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.25~0.5ml<200~300>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験での確認.
			適用性 継 続	東日本G研 新潟試験地、 佐野CC、琵琶湖CC、 タイカ-スGC (4)			
8. CH-900 水和剤 (ハイストロ水和剤) [永光化成]	カエンストロール 50%	ノシバ	適用性 継 続	<静岡農試高冷地> (1)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.2、0.375、0.5 g<200-300> ; 土壌処理 ; ライラ乳剤 1.2 ml<300>	保 留	保留)・未報告.
9. DEH-115 ゾル剤 [サウケミカル 日本]	Florasulam 5%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研 (1)	[広葉雑草] コライシバ、ノシバ、ブナグサ: H7秋→H8春→H8秋→H9春 ハナグサ: H8春→H8秋→H9春→H9秋 雑草発生初期(2~3葉期) ; 0.04、0.08、0.16 ml<150> ; 茎葉処理 ; 無処理	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、 ケンタッキーブナグサ)広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 一年生広葉雑草; 0.02~0.04ml<150~200>、 ・ 多年生広葉雑草; 0.04~0.08ml<150~200>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 多年生広葉雑草の効果確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
			作用性 継 続	東日本G研 (1)			
			作用性 継 続	奥武蔵CC (1)			
			作用性 継 続	滝川畜試 (1)			
			適用性 継 続	鷹之台CC、 小杉CC、琵琶湖CC、 花屋敷GC (4)			
			適用性 継 続	植調岩手、 富士国際GC、 南愛知CC、 西日本G研 (4)			

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
9. DEH-115 ゾル剤 (つづき) [タケナカ日本]		ワライハ	適用性 継 続	鷹之台CC、小杉CC、 琵琶湖CC、 花屋敷GC (4)	[②多年生広葉雑草主体] 雑草発生初期(2～3葉期) ; 0.02、0.04、 0.08 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; イソプロパノール水和剤 0.3 g <200-300>		
		ノハ	適用性 継 続	植調岩手、 富士国際GC、 南愛知CC、 西日本G研 (4)			
		ベント グラス	適用性 新 規	大月CC、 <小諸高原GC>、 東名根羽CC、 東広野GC (4)	[広葉雑草] 雑草発生初期(2～3葉期) ; 0.02、0.04、 0.08 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; イソプロパノール水和剤 0.3 g <200-300>		
		ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 札幌芙蓉CC、 アイランド7、 <札幌不二ロイヤルGC>、 廣済堂札幌CC、 那須ナセー (6)			
10. DEH-116 液剤 新規化合物 [タケナカ日本]	トリクロル 33% 新規化合物 12.1%	ワライハ (殺草 スベクトル、 薬害)	作用性 新 規	植調研究所 (2)	[広葉雑草] ① 10月後半、雑草生育期 ② 翌春3月、雑草生育期 ; 0.125、0.25、0.5 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; アイソプロパノール液剤 0.4 ml<150-200>	継 続) ・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。	
		ノハ (殺草 スベクトル、 薬害)	作用性 新 規	植調研究所 (2)			
		ワライハ	適用性 新 規	宇都宮大学① <②>、 東日本G研①②、 中国G連G研① <②>、 西日本G研<①>② (8)	[広葉雑草] ① 10月後半 又は翌春3月前半雑草生育期 ② 翌春3月、雑草生育期 ; 0.15、0.20、0.25 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; アイソプロパノール液剤 0.4 ml<150-200>		
		ノハ	適用性 新 規	宇都宮大学① <②>、 東日本G研①②、 中国G連G研① <②>、 西日本G研<①>② (8)			
11. DEH-117 顆粒水和剤 [タケナカ日本]	トリグリッ 60% ンナセー 20%	ワライハ	適用性 新 規	小杉CC、 中国G連G研、 西日本G研、 門司GC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.075、0.1、0.15 g<200> ; 土壌処理 ; 慣行薬剤	継 続) ・効果、薬害の確認。	
		ノハ	適用性 新 規	小杉CC、 中国G連G研、 西日本G研、 祁谷院GC (4)			
12. DH-80 粒剤 [大日本イナ化学 工業]	ヒリグナール 3.5%	ワライハ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[一年生雑草] 一年生雑草発生前 ; 15、20、25、75 g ; 土壌処理 ; イソプロパノール水和剤 1.2 g<200-250>	継 続) ・効果、薬害の確認。	
		ベント グラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	東日本G研 (1)			

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml(水量ml)/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
12. DH-80 粒剤 (つづき) [大日本イソ化学 工業]		ケンタッキー ブルー グラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	那須テレー (1)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 15、20、25 g ; 土壌処理 ; エグザン水和剤 1.2 g<200-250>		
		コライシバ	適用性 新 規	廣之台CC、 東日本G研、 兵庫農技、 福岡農総試園研 (4)			
		ベント グラス	適用性 新 規	東日本G研、 大月CC、 東広野CC、 中国G連G研 (4)			
		ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	北海道CC、 アイソリブル7、 太平洋C札幌、 札幌不二ロイヤルCC (4)			
13. DH-81 粒剤 [大日本イソ化学 工業]	既知化合物 0.16%	コライシバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 東日本G研、 西日本G研 (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 15、20、25、75 g ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.2ml<200-300>	—	(・適用性試験に移行可。)
		ノシハ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 東日本G研 (2)			
14. DOWCO-233 液剤 (ダクトロミン液剤) [タケウチミカル日本]	トリクロピル アミン 44%	コライシバ	適用性 継 続	宇都宮大学、 東日本G研、 大阪農技、 鳥取園試、 中国G連G研、 西日本G研 (6)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.1、0.2、0.3 ml<150-200> ; 茎葉処理 ; DOWCO-233液剤 0.4 ml<150-200>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシハ) 広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草生育期。 ・ 0.2~0.3ml<150~200>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 効果、薬害の確認。
		ノシハ	適用性 継 続	植調岩手、 宇都宮大学、 東日本G研、 長野農事、 鳥取園試、 中国G連G研 (6)			
15. DTH-85 水和剤 [トヤマ、大日本 イソ化学工業]	テメクロール 50%	コライシバ	適用性 継 続	東蔵王CC、 佐野CC、 総武CC、 琵琶湖CC (4)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.4、0.5 g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.2 ml<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシハ) 一年生イネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.3~0.5g<200~300>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
		ノシハ	適用性 継 続	美浦CC、 奥武蔵CC、 福岡農総試園研、 佐賀CC (4)			
16. EL-107 水和剤 (ターザイン水和剤) [タケウチミカル日本]	イキサハソ 50%	コライシバ	適用性 継 続	中国G連G研、 西日本G研、 門司CC、 佐賀CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 2~3 週間前 ; 0.06、0.08、0.1 g<200>。 ; 土壌処理 ; ターザイン水和剤等 発生前処理剤	継	継) ・ ススメノカビテラに対する 効果の確認。
		ノシハ	適用性 継 続	中国G連G研、 西日本G研、 宮崎CC、 祁答院CC (4)			

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml(水量ml)/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
17. ESH-01 水和剤 [パル企画]	既知化合物 58%	コライシバ	適用性 新 規	宇都宮大学、 千葉大学、 浜松シ-サイトGC、 大阪農技、 関西G研 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.5、0.7 g<250-300> ; 土壌処理 ; ハナフィノ顆粒水和剤 0.5 g<250-300>	継)	・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
18. FDH-501 顆粒水和剤 [FMC7シ7ハシフィツ・ イツ、大日本 イキ化学工業]	50%	コライシバ	適用性 新 規	佐野GC、小杉CC、 兵庫農技、 中国G連G研 (4)	[一年生広葉雑草] ; 雑草発生初期(3~5葉期) ; 0.01、0.015、0.02 g <100-200> タリノ-10 500倍加用 ; 茎葉処理 ; イワ-ル水和剤 0.3 g<200-300>	継)	・効果、薬害の確認。
19. HSA-953 顆粒水和剤 [ヘキスト・シェリング・ 7クルボ]	60%	コライシバ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生初期(2~3葉期) ; 0.03、0.05、0.1 g<200> ; 茎葉処理 ; コライシバ、ノシハ イワ-ル水和剤 0.3g等 ベントグ-ラス、ケンタッキーフ-ルグ-ラス 7クル-ン水和剤 0.3g等	継)	・効果、薬害の確認。
		ノシハ (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	宇都宮大学、 中国G連G研 (2)			
		ベント グ-ラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	那須ナ-セー、 中国G連G研 (2)			
		ケンタッキー フ-ル グ-ラス (殺草ス ベクトル、 薬害)	作用性 新 規	滝川畜試、 那須ナ-セー (2)			
		コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[広葉雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生初期(2~3葉期) ; 0.05 g<200> ; 茎葉処理 ; 一任		
		ノシハ (連用)	作用性 新 規	植調研究所 (1)			
		ベント グ-ラス (連用)	作用性 新 規	奥武蔵CC (1)			
		ケンタッキー フ-ル グ-ラス (連用)	作用性 新 規	滝川畜試 (1)			
		コライシバ	適用性 新 規	東日本G研 新潟試験地、 東日本G研、 大阪農技、 <中国G連G研>、 西日本G研 (5)	[広葉雑草(一年生主体)] 雑草発生初期(2~3葉期) ; 0.03、0.04、0.05 g<200-300> ; 茎葉処理 ; コライシバ、ノシハ イワ-ル水和剤 0.3g等 ベントグ-ラス、ケンタッキーフ-ルグ-ラス 7クル-ン水和剤 0.3g等		
		ノシハ	適用性 新 規	東日本G研 新潟試験地、 植調研究所、 東日本G研、 <中国G連G研>、 西日本G研 (5)			

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
19. HSA-953 顆粒水和剤 (つづき) [ヘキスト・シェリング・ フグ・レボ]		ベント グラス	適用性 新 規	東日本G研 新潟試験地、 奥武蔵CC、 習志野CC、 東日本G研、 花屋敷GC (5)			
		ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	道南農試、 アイリッシュ7、 廣済堂札幌CC、 盛岡南CC、 那須ナセリー (5)			
20. HW-T62 水和剤 (ヘンボ-ル水和剤) [保土谷フーズ]	DCBN	50%	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所 (1)		[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] H8秋→H9春→H9秋→H10春 雑草発生前又は発生初期 ; 1.5 g<150-200> ; 無処理 ; 土壌処理又は茎葉処理
			コライシバ	適用性 継 続	茨城農総園研、 石川農総試、 兵庫農技、 西日本G研 (4)		[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生初期 (スズメノカタビラ2~3葉期) ; 0.5、0.75、1.0、1.5g<150-200> ; 茎葉処理 ; シマヅン、シバゲソ、アザラン等
			シバ	適用性 継 続	植調岩手、 植調研究所、 千葉大学、 長野農事 (4)		
21. HW-T62 粒 剤 (ヘンボ-ル粒剤) [保土谷フーズ]	DCBN	4%	コライシバ	適用性 継 続	茨城農総園研、 石川農総試、 兵庫農技、 西日本G研 (4)		[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生初期 (スズメノカタビラ2~3葉期) ; 7.5、10、15 g ; 土壌処理 ; シマヅン、シバゲソ、アザラン等
			シバ	適用性 継 続	植調岩手、 植調研究所、 千葉大学、 長野農事 (4)		
22. IDH-1105 フロアリング剤 (イデトフフロアリング剤) [IDH-1105研究会 ; 出光興産]	IDH-1105	30%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)		[一年生雑草] H8春→H8秋→H9春→H9秋 雑草発生前 ; 0.1 ml<200-300> ; 土壌処理 ; 無処理
			シバ	作用性 継 続	奥武蔵CC、 東日本G研 (2)		
			コライシバ (2)	適用性 継 続	美浦GC、 新沼津CC、 東広野GC、 久山CC (8)		[一年生雑草] ①イネ科雑草発生前 ② " 発生初期 (スズメノカタビラ2~3葉期) ; 0.075、0.1、0.15 ml<200-300> ; ①土壌処理、②茎葉処理 ; ①イデトフフロアリング剤 0.5ml<200-300> ②アザラン水溶液 0.4ml<200-300>
			シバ (2)	適用性 継 続	植調研究所、 クインツ・フォー・アットGC、 タカノAGC、 祁答院GC (8)		
			コライシバ	実 証	東蔵王GC、 高坂CC、 宮崎CC (3)		[一年生雑草] イネ科雑草発生前 ; 0.1 ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任
			シバ	実 証	盛岡南CC、 リバ-富士CC、 祁答院GC (3)		

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
23. JT-101 乳剤 (ｸﾞﾗﾝﾄﾘｯｸ)	ﾊﾞｰﾙｺﾝ酸 52%	ｺﾗｲｼﾊﾞ ・ｼﾊﾞ (処理 時期)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学、 中国G連G研 (3)	[ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗ、ﾍﾞﾝﾄｸﾞﾅｽ、他] ①休眠期 ②休眠終期 ③芽生え期直前 ④芽生え期 ; 5ml<100> ; 茎葉処理 ; 一任	継	・効果、薬害の確認。
		ｺﾗｲｼﾊﾞ ・ｼﾊﾞ (処理 薬量)	作用性 新 規	植調研究所、 東日本G研、 西日本G研 (3)	[ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗ、ﾍﾞﾝﾄｸﾞﾅｽ、他] 休眠期 ; 3 ml<100>、4 ml<200>、 5 ml<200>、5 ml<100>、 10 ml<100> ; 茎葉処理 ; 一任		
		ｺﾗｲｼﾊﾞ	適用性 新 規	奥武蔵CC、 小杉CC、 琵琶湖CC、 門司GC (4)	[ｽｽﾞﾒﾉｶﾀﾋﾞﾗ、ﾍﾞﾝﾄｸﾞﾅｽ、他] 休眠期 ; 3 ml<100>、4 ml<200>、 5 ml<200>、5 ml<100> ; 茎葉処理 ; 一任		
		ｼﾊﾞ	適用性 新 規	埼玉県民G場、 習志野CC、 小杉CC、 佐賀 CC (4)			
[日本たばこ産業]							
24. MHF-8 肥料粒剤 (ﾊｼｯﾄ)	ｸﾛﾙﾌﾀﾘﾑ 0.4% ﾚﾅｼﾙ 0.4% (N:P:K=8:8:8)	ｺﾗｲｼﾊﾞ ・ｼﾊﾞ	実 証	埼玉県民G場、 琵琶湖CC、 祁答院GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 30～50 g ; 土壌処理 ; 除草剤成分を含まない 粒状肥料	実	実) [(ｺﾗｲｼﾊﾞ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草 ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・30～50g. ・土壌処理。
[三菱化学]							
25. NC-319 顆粒水和剤 (ｲｿﾅｰﾙ 顆粒水和剤)	ﾊﾛｽﾌﾛﾝﾓﾅﾁﾙ 75%	ｺﾗｲｼﾊﾞ	適用性 継 続	埼玉県民G場、 新沼津CC、 小杉CC、 鳥取園試 (4)	[広葉雑草] 雑草発生初期(2～4葉期) ; 0.03、0.04、0.05 g<200-300> ; 茎葉処理 ; ｲｿﾅｰﾙ水和剤 0.3 g<200-300> (ｺﾗｲｼﾊﾞはｸﾞﾘｰﾝに準ずる条件)	実 ・ 継 続	実) [(ｺﾗｲｼﾊﾞ、ｼﾊﾞ)広葉雑草 ・芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで)。 ・0.03～0.05g<200～300> ・茎葉処理。 ・発生前処理の効果確認。 ・ﾍﾞﾝﾄｸﾞﾅｽ、ｸﾞﾅﾀﾞｷｰﾌﾞﾙ-ｸﾞﾅｽの 効果、薬害の確認。 ・実証試験での確認。
		ｼﾊﾞ	適用性 継 続	那須ﾅｰﾍﾞﾘ-、 習志野CC、 南長野CC、 中国G連G研 (4)			
		ﾍﾞﾝﾄ ｸﾞﾅｽ	適用性 新 規	総武CC、 大月CC、 <小諸高原GC>、 東名根羽CC (8)	[広葉雑草] ①雑草発生前 ② " 発生初期(2～4葉期) ; 0.03、0.04、0.05 g<200-300> ; ①土壌処理、②茎葉処理 ; ｲｿﾅｰﾙ水和剤 0.3 g<200-300> (ｸﾞﾘｰﾝに準ずる条件)		
		ｸﾞﾅﾀﾞｷｰ ﾌﾞﾙ- ｸﾞﾅｽ	適用性 新 規	札幌国際CC、 札幌芙蓉CC、 札幌不二ｲﾂﾔGC、 廣済堂札幌CC (8)			
[日産化学工業]							
26. NC-340① 顆粒水和剤	ﾊﾛｽﾌﾛﾝﾓﾅﾁﾙ 12% ﾌﾞﾛｼﾞｱﾐﾝ 24%	ｺﾗｲｼﾊﾞ	適用性 新 規	佐野GC、 埼玉県民G場、 高坂CC、習志野CC、 <小諸高原GC>、 南愛知CC、 兵庫農技、 佐賀 CC (8)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; ｸﾞﾗﾝﾄﾘｯｸ水和剤 0.2 g<200-300>	実 ・ 継 続	実) [(ｺﾗｲｼﾊﾞ、ｼﾊﾞ) 一年生雑草 ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.15～0.3g<200～300>。 ・土壌処理。 ・効果、薬害の確認。 ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。
		ｼﾊﾞ	適用性 新 規	盛岡南CC、 東日本G研 新潟試験地、 江戸崎CC、 <静岡農試高冷地> 甲府国際CC、 小杉CC、鳥取園試、 門司GC (8)			
[イソナー・イス ﾊﾞｲﾀﾞﾂ ﾏ、 日産化学工業]							

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
27. NC-359 肥料粒剤 [日産化学工業]	ジ・チ・ビ・ル (N:P:K=8:8:8) 0.13%	コライシバ	適用性 継 続	江戸崎CC、 甲府国際CC、 桑名CC、 久山CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 30、40、50 g ; 土壌処理 ; テマックス肥料粒剤 40 g	実・ 継 継	実) [(コライシバ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 30~60 g。 ・ 土壌処理。 ・ 低薬量の効果確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
		ノシハ	適用性 継 続	東日本G研 新潟試験地、 習志野CC、 小杉CC、 東名根羽CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 30、40、50、60 g ; 土壌処理 ; テマックス肥料粒剤 40 g		
		コライシバ ・ノシハ	実 証	オソサ・フィールドGC (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 40 g ; 土壌処理 ; テマックス肥料粒剤 40 g		
28. NH-502 水和剤 [日本農業]	イ・ホ・ア・ロ・ン 50%	コライシバ (薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.3、0.6、1.2 g<200-300> ; 土壌処理 ; 別途協議	実・ 継 継	実) [(コライシバ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.15~0.3g<200~300>。 ・ 土壌処理。 ・ ベントグーラスの効果、 薬害の確認。 ・ 実証試験での確認。
		ノシハ (薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)			
		コライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (概要のみ) (2)	[一年生雑草] H8春→H8秋→H9春→H9秋 雑草発生前 ; 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; 無処理		
		ノシハ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
		コライシバ	適用性 継 続	習志野CC、 小杉CC、大阪農技、 兵庫農技 (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 ; 0.15、0.2、0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; コライシバ、ノシハ ウイテップ・プロテクトル 0.6 g<200-300>等 ベントグーラス クワック顆粒水和剤 0.1 g<200-250>等 (コライシバ、ベントグーラスは グリーンを除く)		
		ノシハ	適用性 継 続	植調岩手、 東日本G研 新潟試験地、 南長野CC、 琵琶湖CC (4)			
		ベント グーラス	適用性 新 規	那須ナセー、 関西G研 (2)			
29. NP-63 液剤 [日本曹達]	メコップ・P 52%	芝・非 農耕地 等 (殺草ス ベクトル)	作用性 新 規	植調研究所、 東日本G研 (2)	[広葉雑草] 参考設計: 雑草生育期 ; 0.25、0.375、0.5 ml<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75 ml<200>	継 継	継) ・ 効果、薬害の確認。
		コライシバ	適用性 新 規	奥武蔵CC、 甲府国際CC、 琵琶湖CC、 西日本G研 (4)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.25、0.375、0.5 ml<200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75 ml<200>		
		ノシハ	適用性 新 規	佐野CC、 新沼津CC、 南長野CC、 中国G連G研 (4)			
		ケンタッキー ブルー グーラス	適用性 新 規	道南農試、 北海道CC、 アイソリブ7 (3)			
30. OK-604S 70777 剤 [大塚化学]	新規化合物 35%	コライシバ	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (4)	[一年生雑草] ①雑草発生前 ② " 発生初期 (ス・メ・カ・ビ・71~2葉期) ; 0.1、0.15、0.2 ml<200-300> ; ①土壌処理、②茎葉処理 ; デイティン乳剤0.15 ml<200-300>	- -	(・適用性試験に移行可。)

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml(水量ml)/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
31. RGH-501 乳剤	オキサリブロン シナリジン 50% 1.5%	コライシバ	適用性 継 続	ブラッッシュ・デーンCC、 高板CC、 大阪CC 宮崎CC (8)	[一年生雑草] ①雑草発生前 (ス・メノカビ・ラ1葉期まで) ② " 発生初期 (ス・メノカビ・ラ2~3葉期) ; 0.8、1.0、1.2 ml(200-300) ; ①土壌処理、②茎葉処理 ; ラノード水和剤 1.25 g (300)	実・ 継	実) [(コライシバ、シバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 ~発生初期(3葉期まで). ・ 0.8~1.2ml(200~300). ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
[理研ガリソン]		ノシハ	適用性 継 続	天ヶ代CC、 富士国際CC、 小杉CC、 桑名CC (8)			
32. RGH-840 液剤	既知化合物A 30% 既知化合物B 10%	コライシバ	適用性 新 規	宇都宮大学、 東日本G研、 中国G連G研 (3)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.6、0.7、0.8 ml(150-200) ; 茎葉処理 ; 展着剤加用 ; MCP液剤 1.0 ml(200)	継	継) ・ 成分未公開. ・ 効果、薬害の確認.
33. RH-315N 水和剤	ア・ロ・ミ・ミ ハロスルフロメチル 40% 10%	コライシバ (2)	適用性 継 続	ブラッッシュ・デーンCC、 ノハ・富士CC、 琵琶湖CC、 鳥取園試 (8)	[一年生雑草] ①雑草発生前(1葉期まで) ② " 発生初期 (ス・メノカビ・ラ2~3葉期) ; 0.15、0.2、0.3 g(200-300) ; ①土壌処理、②茎葉処理 ; デイトラン乳剤 0.1 ml(200-300)	実・ 継	実) [(コライシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.15~0.3g(200-300). ・ 土壌処理. 継) ・ 発生初期処理の効果確認.
34. RYH-108 7077*液剤	ジ・フルフェニオン	コライシバ	適用性 継 続	総武CC、 小杉CC、 浜松・サイト・GC、 鳥取園試 (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前(1葉期まで) ; 0.075、0.1、0.15 ml(200-300) ; 土壌処理 ; ターザイン水和剤 0.06 g(200-300)	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシハ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.075~0.15g(200-300). ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
		ノシハ	適用性 継 続	植調岩手、 天ヶ代CC、 <小諸高原GC>、 琵琶湖CC (4)			
35. RYH-120 7077*液剤	既知化合物A 40% 既知化合物A 9%	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研 新潟試験地、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (4)	[一年生雑草] ス・メノカビ・ラ発生初期 (2~3葉期) ; 0.3、0.4、0.5 ml(150-200) ; 茎葉処理 ; ト・ゾツツ液剤 0.3 ml(250)	継	継) ・ 成分未公開. ・ 効果、薬害の確認.
		ノシハ	適用性 新 規	東日本G研 新潟試験地、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (4)			
36. RYH-121 液剤 (MCP-Isomer)	メコ・ロツ・P 52%	コライシバ (殺草ス ベ・トル)	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[広葉雑草] 別途協議: 雑草生育期 ; 0.25、0.5 ml(100-200) ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5、1.0 ml(100-200)	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
		日本芝 西洋芝	作用性 新 規	植調研究所 (1)			
		コライシバ	適用性 新 規	宇都宮大学、 天ヶ代CC、 小杉CC、 宮崎CC 祁答院CC (5)	[広葉雑草] 雑草生育期 ; 0.25、0.5 ml(100-200) ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.5、1.0 ml(100-200)		
		ノシハ	適用性 新 規	東日本G研 新潟試験地、 宇都宮大学、 天ヶ代CC、 東日本G研、 小杉CC、宮崎CC、 祁答院CC (7)			
[ロ・ス・フ・ラシ 油化79*ロ]							

– 31 –

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) [委託者]	有効成分および 含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 < > = 中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法 ; 比較剤	判 定	内 容
1. DNS-3 水和剤	紺青 7.7%	コライシバ	作用性 新 規	植調研究所、 千葉農試 (2)	[張り芝の活着促進； 新根の伸長促進] 張り芝直後から2日以内 ; 5、10、20 ml<200> ; 茎葉処理 ; 無処理	—	
		コライシバ	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[鉄分蓄積効果による 春の発芽促進及び緑化促進] 秋～冬：枯れ上がり直前から 1ヶ月毎3回 ; 2、5、10 ml<200> ; 茎葉処理 ; 芝着色剤(スハ [®] -カラー-K) 5 ml<200> (グリーンに準ずる)		
		ハント グラス	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[耐寒性の改善(緑色維持)、 鉄分蓄積効果による 春の発芽促進及び緑化促進] 秋～冬：初霜の前から 1ヶ月毎3回 ; 2、5、10 ml<200> ; 茎葉処理 ; 芝着色剤(スハ [®] -カラー-B) 5 ml<200> (グリーンに準ずる)		
[大日精化工業]							
2. DNS-4 水和剤	紺青 7.7%	コライシバ	作用性 新 規	植調研究所、 千葉農試 (2)	[張り芝の活着促進； 新根の伸長促進] 張り芝直後から2日以内 ; 5、10、20 ml<200> ; 茎葉処理 ; 無処理	—	
		コライシバ	作用性 新 規	東日本G研、 < 中国G連G研 > (2)	[鉄分蓄積効果による 春の発芽促進及び緑化促進] 秋～冬：枯れ上がり直前から 1ヶ月毎3回 ; 2、5、10 ml<200> ; 茎葉処理 ; 芝着色剤(スハ [®] -カラー-K) 5 ml<200> (グリーンに準ずる)		
		ハント グラス	作用性 新 規	東日本G研、 < 中国G連G研 > (2)	[耐寒性の改善(緑色維持)、 鉄分蓄積効果による 春の発芽促進及び緑化促進] 秋～冬：初霜の前から 1ヶ月毎3回 ; 2、5、10 ml<200> ; 茎葉処理 ; 芝着色剤(スハ [®] -カラー-B) 5 ml<200> (グリーンに準ずる)		
[大日精化工業]							